

平成22年度 外部評価書

学校名 和歌山市立 伏虎中学校

作成日

平成23年2月25日

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力	
本年度の重点目標に対する意見	どの目標についても学校の先生方ががんばってくださっているので一定の効果は出ていると思う。	校外学習や学習発表会などの学校行事について家庭でも話し合うことができた。 不登校や登校しにくい子どもたちのことについても、子どもから話してくれて一緒に考えて考えることができた。	学校においては、まず、子どもたちが落ち着いて授業が受けられるということが一番なので、当然の目標だと感じる。	
取組の具体的方策に対する意見	緊急時の学校の対処の仕方についてホームページにアップしてくれたのが良かった。 玄関ホールに生徒の絵画・書写の掲示、あるいはさまざまな活動の写真等があり学校の様子がわかった。	学習発表会などの行事の時の自主性や協働性を通常の授業で発揮する機会をつくれたら大きなエネルギーになるのでは。	今全国的にみても読書推進に関する取り組みは増えているようです。本校の「読書タイム」はいいと思います。その他にも読書の習慣が身につくような取り組みはないでしょうか	
取組の成果と課題に対する意見	挨拶運動の成果か、皆挨拶がよくできていて校風が明るい。子どもが比較的安全で穏やかな学校生活を過ごせ安心感の高い学校だが、そのよさのアピールがまだまだ十分ではない。	生徒指導の成果の表れとして、子どもたちの校外での行事の際の行動、態度が良好で高い水準の規律が生徒全体に浸透している。 不登校の生徒が一層減ることを期待したい。	いつ学校へ行っても、常に落ち着いて授業が進められている。学習しやすい状態がとても良く維持されているように感じる。読書タイムの実施により生徒は朝から落ち着いている。	
改善次年度に方向付ける意見	第3月曜日の「笑顔でおはよう」運動は、役員だけではなく、その他の保護者への協力依頼をしてもよいのでは。 学校からの連絡が確実に家庭に届くような工夫が必要である。	保護者だけではなく、地域の人や小学生などが参加、交流できる共同行事・イベントなどを企画してみてもどうか。従来の学習発表会を文化祭的な参加型イベントにしてみたらどうでしょうか。	遅刻・服装に関して、特に遅刻については生徒本人の自覚や家庭の指導によるところが大である。ただ、不登校という問題にもつながることもあるので、デリケートな対応が求められることもある。	

その他学校運営の改善に関する意見

子どもたちにもっと自信を持ってもらい、それがいろいろな面で活力につなげてほしい。
子どもたちの進学に対する意欲をさらに高め、それを継続していけるような指導や方法の検討を期待します。